

～ 輝かしい伝統とさらなる発展のために ～

大久保小学校 校長 金子 要一

五月から使われる元号「令和」が発表されました。この「令和」には「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」という意味と「厳しい寒さの後に春の訪れを告げ、見事に咲き誇る梅の花のように、一人ひとりの日本人が、明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができる」という願いが込められているそうです。本校児童も大きな希望とやさしい心をもった子どもたちに育ってほしいものです。

さて、本校は今年度、開校88年を迎えます。地域に愛され地域とともに歩み、歴代の校長や教職員が築いた輝かしい伝統をさらに発展させてまいります。そして、23名の新1年生を迎え、児童数234名、教職員数39名で平成31年度をスタートいたします。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、今年度の「学校教育目標」と、「目指す児童像」を下のように決めました。

学校教育目標 「力いっぱい かしこく やさしく たくましく」

|                        |        |
|------------------------|--------|
| 目指す児童像 (知) 進んで学ぶ子      | Growth |
| (徳) 思いやりのある子           | Global |
| (体) 心身ともにたくましい子        | Grit   |
| (コミュニケーション) 人と豊かにかかわる子 | Global |

さいたま市は「知」「徳」「体」「コミュニケーション」のバランスのとれた児童生徒の育成、そして「さいたま市教育アクションプラン」の推進力となる「PLAN THE NEXT 3つのG (Grit, Global, Growth) で 日本一の教育都市へ」を掲げています。本校もそれに倣い「学校教育目標」と「目指す児童像」を設定しました。

- 「かしこく」が「知」にあたる「進んで学ぶ子」、そして3つのGのうちの(Growth)、
- 「やさしく」が「徳」にあたる「思いやりのある子」と「コミュニケーション」にあたる「人と豊かにかかわる子」で(Global)、
- 「たくましく」が「体」にあたる「心身ともにたくましい子」(Grit) です。

そして、それら「目指す児童像」に「力いっぱい」取り組む児童の育成を推進します。

教育の不易、つまり今も昔も変わらない大切なことは、子ども一人ひとりのよいところを認め、褒め、励まして伸ばすことを中心に、また、その悪いところを叱り、気づかせ、正すことを補助として導くことにあります。そして、昨日はできなかったことを今日できるようにさせられる学校、下校時には、登校時に比べ、何か一つ、どこか少しでも成長して帰ってあげられる学校づくりを進めてまいります。

保護者、地域の皆様と我々教職員が力を合わせ、子どもたちに安心して楽しく、充実した学校生活を送らせたいと考えます。そして、輝かしい伝統ある本校を、さらに発展させてまいります。ご理解の上、お力添えいただきますよう、お願いいたします。